



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 兵機海運株式会社

コード番号 9362 URL <http://www.hyoki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大東 洋治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 田中 康博

TEL 078-940-2351

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,879	8.8	74	186.2	49	582.1	62	—
25年3月期第2四半期	6,321	△4.1	26	△68.6	7	△78.5	△26	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 189百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △97百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	5.25	—
25年3月期第2四半期	△2.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	13,143	1,822	13.9	153.96
25年3月期	11,619	1,656	14.3	139.94

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,822百万円 25年3月期 1,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期の配当金額は未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	10.9	180	251.2	100	77.0	100	—	8.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社シンパ 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P3、「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	12,240,000 株	25年3月期	12,240,000 株
26年3月期2Q	403,841 株	25年3月期	403,417 株
26年3月期2Q	11,836,396 株	25年3月期2Q	11,863,240 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要の継続や公共投資の拡大を下支えに、金融緩和策のもと過度の円高からの修正が進んだ安定状態で推移いたしました。これにより、企業の雇用環境や設備投資も持ち直しの傾向で推移し、国内外では政策の安定感にも一定の評価が認知されてきたこともあり、企業の景況感は総じて明るく確実なものになってまいりました。

このような状況下におきまして、「安全・迅速・信頼」をモットーに積極的な事業展開をしてまいりました結果、当社グループの事業別業績は次のとおりとなりました。

内航事業では、停滞する国内経済からの脱出にともない、公共土木工事や建設から派生する鋼材輸送の需要も徐々に高まってまいりました。今後の内航市況の動向も踏まえ、船舶老朽化による船主の自然淘汰が更にすすむことが考えられることから、船団の再編強化に努めるとともに、船舶管理を一括で行い、事業の効率化を進めてまいりました。その結果、売上高3,245百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益133百万円（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

外航事業では、運航効率が落ちた老朽社船（HYOKI No. 8）を売却するとともに、新たな定期航路の開発を進めつつ、インドネシアに駐在員を送り、東南アジアを基軸とした営業基盤の再構築を進めてまいりました。結果といたしまして、社船売却による取扱量と運賃収入の減少と、海外集荷営業の新規構築の経費や人件費の増加もあり、売上高515百万円（前年同期比26.4%減）、営業損失142百万円（前年同期は87百万円の営業損失）となりました。また、社船（HYOKI No. 8）売却による固定資産売却損を特別損失として69百万円計上いたしました。

港運事業では、前年同期の為替の過剰な円高から円安に振れましたが、取扱量にあっては飼料類に伸びが見られたものの落ち込んだ機械類の回復が鈍いこともあり、取扱量は減少いたしました。しかし、メーカー案件や大型輸送案件に恵まれ、取扱量の減少も最少のものとなりました。結果といたしまして、人件費の増加や国内物流の燃料費の値上がり傾向に厳しいものが見られましたが、売上高の増加でこれを凌ぎ、売上高2,532百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益89百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

倉庫事業では、本年7月に倉庫・港湾関連事業会社株式会社シンパを子会社化し、延床面積4,500平米の物流施設を新たに傘下に組み入れました。これにより神戸港における取扱量と収益への寄与が見られたものの、姫路地区の鋼材の取扱いの落ち込みをカバーするには至りませんでした。結果といたしまして、取扱量の減少及び、株式会社シンパ子会社化の一時的な経費や人件費の増加により、売上高581百万円（前年同期比2.2%減）、営業損失6百万円（前年同期は18百万円の営業利益）となりました。また、株式会社シンパの株式を取得したことによる負のれん発生益を特別利益として86百万円計上いたしました。

これらの結果、グループ全体の取扱量は2,142千トン（前年同期比8.2%増）で、売上高6,879百万円（前年同期比8.8%増）、営業利益74百万円（前年同期比186.2%増）、経常利益49百万円（前年同期比582.1%増）、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は62百万円（前年同期は26百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部では、流動資産は4,489百万円となり、前連結会計年度末と比較して990百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金983百万円等の増加と受取手形34百万円等が減少したことによるものであります。固定資産は8,654百万円となり、前連結会計年度末と比較して533百万円増加いたしました。これは主に、株式会社シンパを子会社化したことによる建物の増加239百万円、船舶を取得したことによる増加608百万円、投資有価証券の時価評価の上昇等による増加179百万円に対して、船舶を売却したことによる減少226百万円、建設仮勘定より船舶に振替えた為の減少157百万円、減価償却による固定資産の減少222百万円等によるものであります。

負債の部では、流動負債は6,005百万円となり、前連結会計年度末と比較して553百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金551百万円等の増加に対し、未払金39百万円、未払消費税28百万円等が減少したことによるものであります。固定負債は5,315百万円となり、前連結会計年度末と比較して804百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加858百万円等に対して、債務保証の履行による債務保証損失引当金の減少55百万円等によるものであります。

純資産の部は、1,822百万円となり、前連結会計年度末と比較して165百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金38百万円、その他有価証券評価差額金113百万円等が増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ983百万円増加し2,528百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は52百万円（前年第2四半期連結累計期間は318百万円の獲得）となりました。これは、減価償却費223百万円、売上債権の減少37百万円、仕入債務の増加50百万円等に対して、未払金の支払240百万円、債務保証の履行55百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は344百万円（前年第2四半期連結累計期間は23百万円の使用）となりました。これは、固定資産売却による収入141百万円等に対して、固定資産取得による支出471百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は1,380百万円（前年第2四半期連結累計期間は80百万円の使用）となりました。これは、長期借入れによる収入1,876百万円に対して、長期借入金の返済による支出665百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年11月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、株式会社シンパの全株式を取得し子会社化したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,545	2,528
受取手形及び売掛金	1,642	1,605
原材料及び貯蔵品	56	48
前払費用	23	44
その他	247	278
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	3,498	4,489
固定資産		
有形固定資産		
建物及び建物付属設備	4,462	4,701
減価償却累計額	△1,752	△1,831
建物及び建物付属設備（純額）	2,710	2,869
船舶	3,310	3,692
減価償却累計額	△1,323	△1,413
船舶（純額）	1,986	2,278
土地	1,623	1,623
その他	450	480
減価償却累計額	△352	△360
その他（純額）	98	120
建設仮勘定	157	—
有形固定資産合計	6,576	6,891
無形固定資産		
その他	30	157
無形固定資産合計	30	157
投資その他の資産		
投資有価証券	965	1,155
その他	557	458
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	1,513	1,604
固定資産合計	8,121	8,654
資産合計	11,619	13,143

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,269	1,319
短期借入金	4,026	4,578
未払法人税等	4	21
賞与引当金	3	3
その他	148	83
流動負債合計	5,451	6,005
固定負債		
長期借入金	3,849	4,707
退職給付引当金	262	257
債務保証損失引当金	120	65
船舶修繕引当金	123	132
その他	155	152
固定負債合計	4,510	5,315
負債合計	9,962	11,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	612	612
資本剰余金	33	33
利益剰余金	1,026	1,064
自己株式	△92	△92
株主資本合計	1,579	1,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	158	272
繰延ヘッジ損益	△81	△67
その他の包括利益累計額合計	76	204
純資産合計	1,656	1,822
負債純資産合計	11,619	13,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	6,321	6,879
売上原価	5,566	6,053
売上総利益	755	825
販売費及び一般管理費	729	750
営業利益	26	74
営業外収益		
受取利息	8	5
受取配当金	11	10
持分法による投資利益	2	10
貸倒引当金戻入額	22	0
その他	8	11
営業外収益合計	55	38
営業外費用		
支払利息	70	60
その他	3	1
営業外費用合計	73	62
経常利益	7	49
特別利益		
負ののれん発生益	—	86
その他	—	12
特別利益合計	—	98
特別損失		
固定資産売却損	—	69
船舶修繕費	25	—
その他	—	0
特別損失合計	25	69
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17	78
法人税等	9	16
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△26	62
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26	62

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△26	62
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	113
繰延ヘッジ損益	△5	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△70	127
四半期包括利益	△97	189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97	189
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17	78
減価償却費	217	223
負ののれん発生益	—	△86
為替差損益(△は益)	2	△0
有形固定資産除却損	0	0
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	69
持分法による投資損益(△は益)	△2	△10
受取利息及び受取配当金	△20	△15
支払利息	70	60
その他の損益(△は益)	△7	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4	△4
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	—	△55
修繕引当金の増減額(△は減少)	31	8
売上債権の増減額(△は増加)	152	37
仕入債務の増減額(△は減少)	△56	50
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	12	△256
その他	△1	△103
小計	351	△4
利息及び配当金の受取額	21	17
利息の支払額	△70	△62
法人税等の支払額	△1	△2
その他	16	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	318	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△3
有形固定資産の取得による支出	△70	△471
有形固定資産の売却による収入	0	141
短期貸付金の増減額(△は増加)	10	8
長期貸付金の回収による収入	37	31
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23	△344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100	200
長期借入れによる収入	500	1,876
長期借入金の返済による支出	△438	△665
リース債務の返済による支出	△3	△6
自己株式の取得による支出	△15	△0
配当金の支払額	△22	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80	1,380
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	211	983
現金及び現金同等物の期首残高	1,496	1,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,707	2,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。